

# 上野市社会事業協会

## 2002

2002年6月15日 第2号  
社会福祉法人上野市社会事業協会  
発行者 森下達也  
編集責任者 西岡時彦  
〒518-0032 三重県上野市朝屋739番地の2  
TEL 0595-21-5545  
FAX 0595-23-6670

## 日本は今

社会福祉法人 上野市社会事業協会理事長

森下達也

私は、旧制中学二年の夏、遼東半島の大連市で敗戦をむかえた。この稿、少々私事にわたることをお許しいただきたい。住んでいたのは南山麓なんざんろくとよばれていた住宅地で、ソ連軍重戦車が姿を現わしたのは、八月二十一日か二十二日であったと記憶している。ところでその南山麓には、「白系ロシア人」とよばれる人たちが、ひっそり暮らしていた。ひっそりとはいっても、かなりの数にのぼっていたものと思う。

「白系ロシア人」とは、あのロシア革命とソ連の誕生に際して祖国を脱出せざるを得なかった亡命者たちのことである。皇帝ニコライ二世を奉じていた人たちもあれば、革命側でありながら内部抗争に敗れ、ボルシェビキの追跡から逃れた人たちもあつたようである。生活資力は様々で、朝々屋台を引き、ロシア人特有のバスを街に流しながら、ふかしたてのロシアパンを売り歩く落魄の老人もいた。

少年後期の私にも、祖国を失った彼ら亡命者の深い悲哀を感じとることは出来たが、実は、参戦したソ連軍が大連と旅順を目ざして突進していた十日余り、彼ら白系ロシア人が死を覚悟するまでの恐怖に耐えていたという事情には、思い至らなかつたのである。私の友人に、白系ロシア人を父親に、日本人を母親にもつN君がいたが、ある夜父親は連行されついに帰らなかつた。銃殺されたと聞く。

昭和二十二年の早春、私は北鮮丸という貨物船のデッキに立って、近づく九州を見ながら涙をおさえかねていた。その時私は何を思っていたのだろうか。思い

起こすに、両親の古里である三重県を想っていたのではなかった。祖国日本の大地が胸にせまつたのである。白系ロシア人は祖国を失つたが、私には私を守ってくれる立派な祖国があつたということだ。私たちが日本人であるから、まだ機雷の浮遊する危険な海域に船を送り、国家責任を果そうとしてくれたのである。

あれから五十五年、日本では今、地方分権の流れの中でもはや国を無用の長物と断じたのか、寄つてたかつて国の退場を求めているかのごとくである。福祉の場でさえ「国の責任」だの「措置権」だのと言おうものなら、たちまち時代おくれの守旧派か抵抗勢力というレッテルを貼られかねない。「小さな政府」「規制撤廃」と三回唱えなければ意見も聞いてもらえない。なんと馬鹿な！ 地方分権や自立支援を進めることと、国の責任性や指導性は別次元である。瀋陽総領事館に垣間見たような頼りない国家の中で、地方や個人が、安心と繁栄を保ちつづけられる筈がないであろう。



写真／新緑映える・曾我宏三



「転ばないでね」…小さい子を気づかう子どもたち。

四月、平成十四年度保育がスタートしました。初めての集団生活に不安でいっぱいの子どもたちや、進級し「大きくなったよ」と胸を張る子どもたちで保育園は活気に満ちあふれています。♪今日からみんなお友達ち：♪と歌いながら、小さい子の手を引いたり、一緒に遊んであげようとする年長児の姿がとてもほほましいのです。

保育園は、同年齢の子ども同士だけでなく異年齢の子どもたちとの関わりや触れ合いにより、共に育ち合っていく場でもあります。今年度も新たな出会いから始まる一人ひとりの成長が楽しみです。

# 別れ／卒園／出会い／入園

三月、毎年この時期になると、年長児クラスでは卒園へのムードが高まり、卒園記念制作やアルバム作りなどに意欲的に取り組む姿が見られるようになります。保育士は子どもたち一人ひとりの思いに寄り添いながら、晴れの日が迎えられるよう指導援助をします。

泣いたり笑ったり、たくさんの思い出がある子どもたちとの別れは、ちよつぱり寂しさもありますが、それ以上に希望を持って巣立っていく姿を見届けられる喜びがあるのです。生きる力をたくさん身につけた



希望に満ちあふれて…。

子どもたちは、小学校入学への期待に胸をふくらませて保育園を巣立っていきました。



木のぬくもりが感じられる乳児ほふく室。

県下で唯一の公設民営保育所として誕生したゆめが丘保育所は、上野市の新都市計画ゆめが丘団地の住宅街の一角に位置しています。周囲には「風の広場公園」、四季の花が咲く「ボンエルフ通り」などがあり、子どもが育つ環境としてとても恵まれています。

三歳以上児九十四名、三歳未満児四十名、計百三十四名の子どもたちは、広い園庭や大好きなユニット遊具などでいきいきとあそんでいます。

## ゆめが丘保育所



広い園庭で思い思いに遊ぶ子どもたち。

保育室、乳児室、遊戯室、廊下などには木がふんだんに使われ、木の香りがさわやかで、温かい家庭的な雰囲気をもたせています。

子育てと保護者の就労支援を積極的に進めるために、延長保育事業、地域子育て支援センター事業の特別保育事業を実施しています。

社会福祉法人が運営する施設の責任感と柔軟性をもって、当法人十三保育園と連携しながら、地域の児童福祉のさらなる向上のために努力してまいります。



日本保育学会で発表

保育の質と保育者の質

児童福祉法改正に伴ない、保育に規制緩和と利便性が強調されるようになり、当協会が本来担ってきた乳幼児の発達保障や子育て支援の本質が脅かされそうな状況になってきました。より質の高い子育て支援事業を実施するためには、今何をしなければならぬのかを模索していた折、保育士の養成校である高田短期大学の教授より、保育の質についての共同研究のお誘いをいただきました。

研究は、まず協会立保育園が長年取り組んできた子育て支援事業を整理することから始めました。その結果見えてきたことは、当協会は常に時代背景を読み、行政の理解を得ながら地域のニーズの課題に先駆的に向き合って実践してきたことであります。次の研究は、保育の質を語る時、当然保育士の質が問われるということから、保

地域子育て支援センター すくすくらんど

(曙保育園内)

子育て家庭への支援事業として、平成七年から上野市の委託を受けて開設した「すくすくらんど」は、今年で八年目を迎えます。親子に保育園を開放し、楽しみながら子育てができるような講座を開いたり、育児相談や育児サークル支援などを行なったりしています。「友

保育園のページ



子育て支援センターのオープニングに集った親と子ども。

達ができたり、「子育てについて話し合える場ができた」などの感想をいただいています。上野市の子育てネットワークの中核として、市内公立二十三保育園(所)と連携をはかりながら子育て支援を充実させていきたいと思っています。

育士が自分の保育を「自己評価」するという調査を試み、保育の質的改善に向けての課題を探ることにしました。この調査は、乳児保育担当の百名に質問紙法により実施し、図1・図2の結果を得られました。

自己評価

図1

保育観	3.5
保育内容	3.5
人間関係	3.4
職場観	3.4
自己教育力	3.5

図2

健康・安全への配慮	3.6
あそびや生活観での子どもの姿	3.6
子どもへのかわり方	3.5
生活の援助技術	3.7
保育の立案や記録	3.2

方法と保育実績の積み上げの成果と受け止められます。この共同研究の内容は、去る五月十八日・十九日の両日に開催された日本保育学会で発表し、全国レベルで保育の質について語り合えました。引き続き今年度は乳幼児保育の実践場面を抽出し、保育の質に迫る検討を加え、この業績を協会全職員の間共有財産とし、後継の保育士に伝えていきたいと思っています。

バランス良く食べよう!

ハッピーヘルシー事業に取り組んで

近年、食生活の欧米化により、肉類や油脂類の摂取量が多くなっているようです。子どもたちの中にも生活習慣病や便秘に悩む子が増えてきています。

三重県では「イキイキ暮らし、安らかに人生を全うする」という目標で健康作りが推進されています。当協会立保育園では、昨年度からこの事業に協働して「ハッピーヘルシー推進事業」に取り組んでいます。子どもの頃から良い食習慣を身につけるために食生活を見直したり、バランスの良い食事を摂取することの大切さを保護者に



に知らせています。例えば、バランスのとれた食物繊維を多く含んだ献立レシピの配布、食に関する講演会の開催、また毎年実施している「子どもたち作品展」では、献立の展示や試食、食の相談コーナー等を設けて保護者に啓発したりしています。乳幼児期に身につけた食習慣は、

休日にお子さんを保育します

- ・休日や祝日に働きたいとき
- ・病気や事故などで保育できないとき
- ・急な用事ができたとき

【利用日および時間】

- ・日曜、祝日および休日
- (但し年末は30日まで、年始は4日から)
- ・午前8時30分～午後5時
- ・午前9時～午後5時30分
- ・半日利用可能



休日保育

ハミング

曙 保育園 21-2222

その人の将来にわたる食生活と健康に大きく影響するといわれています。この事業の推進により、親子から子へ良い食習慣が伝えられ、子どもたちが、自分自身の健康に関心を持って、心身ともに健やかに成長していただくことを願っています。

### 第二梨ノ木園・梨丘園

## 開園記念に寄せて

五月一日、第二梨ノ木園開園二十一周年のお祝い会が行なわれました。

二十一年前の竣工式には、秩父宮妃殿下の台臨を仰ぎました。妃殿下には、在園されているお年寄りや、職員たちによさしいお言葉をおかけくださいました。園長から、当時の新聞紙面を見ながら披露していただきました。

半月程前から、お年寄りご自身の思い出や、現在の心境などを聞かせていただき、梨の実に記念の寄せ書きを共同制作していただきました。開園記念日の当日には、数名の有志の方から、ご自身の思いを入園する仲間の前で、お話をさせていただきました。ある方は、戦争に行つて転戦した時のお話をされ、別の方は、ご自分の病気との闘い（家族の愛）、またある方は、若い時、夫婦で働いた海での仕事のことなど、それぞれ一生懸命お話ししてくれました。みんなの前では発表されませんでした。が、お一人おひとりから聞かせていただいた言葉も心に残りました。お年寄りの方によっては、言葉の不自由な方もおられますが、精一杯話したい、自分の思いを聞いてほしい

という切実なほどの思いを持つておられることを、この機会を通して改めて深く汲み取らせていただくことができました。

まことにささやかなお祝い会ではありましたが、お一人おひとりから様々な貴重な思いを聞くことができ、職員として充実した心のふれあいをさせていただけたと感謝でいっぱいです。これからも、この気持ちを大切に、在園されるお年寄りの皆さんとの心の交流に努めていきたいと思っております。



それぞれの心境を書いた「梨の実」の前に集まるお年寄りと職員。



出会って一年目を迎えた梨丘園の仲間と職員。

五月十五日に初めての開園記念日を迎えました。在園者の方々にとつても職員も新しい環境の中で、無我夢中の一年でした。この日、楽しく心に残る記念日にしようと「開園記念バーベキューパーティー」が開かれました。テラスにテーブルを出していたので、五月の雨が降ってきて、あわててテーブルを移動するハプニングもありましたが、初夏の風も心地よく季節の美しい花々も祝福を贈ってくれているようでした。この一年間の思い出を明るく話してくれる笑顔が嬉しく、お一人おひとりの一杯の頑張りに心から拍手を送らずにはいられません。今日から二年目がスタート！ さあ、みんなと一緒に頑張りましょう。

### 新緑たぎねて 初夏満喫！ 『ブルーメの丘』

爽やかな初夏の五月十四日、梨ノ木園の三十名のお年寄りと『滋賀農業公園ブルーメの丘』に出かけました。

ブルーメはドイツ語で、花の意味。梨ノ木園から約一時間、お年寄りの期待を乗せたマイクロバスがブルーメの丘に着き、ドイツ風のゲートを見ると、彩色あざやかな花々が迎えてくれました。花の香りに包まれながら、昼食会場のバーベキューハウスに向かいました。地ビールで乾杯の後、ジュージューと焼ける肉をほお張り、笑顔いっぱい皆さんでした。



「ブルーメの丘」に新緑をたぎねました。

自由タイムは土産物を買ったり、羊の追い込みショーを見たり、楽しく過ごしていただきました。部屋に飾る鉢植えの花 選びに一所懸命の方もみえました。五月晴れと風薫る中、心身ともフレッシュしていただけたようです。



園会  
木大  
梨ノ木  
梨ノ木  
梨ノ木

はっけよい!  
梨ノ木場所

今年も歌の大好きなお年寄りが、自慢のノドや器楽演奏を披露する演芸大会が行なわれました。

今回は、お年寄りにファンが多い大相撲にちなんで、演芸大会『梨ノ木場所』と名付けました。東西の組み分けや番付は、出場されるお年寄り一人ひとりが事前にくじ引きで決められました。

二月二十八日、いよいよ本場所。手作りの衣装をまとった寮父扮する行司が会場中央にしっかりと立ち、「ひがし、○○山、○○山」「にーし、△△川、△△川」と両者を呼び出すと、どつと歓声と拍手がわき



“行司の衣裳”に凝りました。

起こりました。東の前頭が自慢のノドを披露すると、西では負けじと大正琴の演奏です。フラフープで作った土俵の中で

演歌や民謡、詩吟等々、力いっぱい披露してください。取り組みが終わるたびに、応援席からは大きな拍手とともに、「次は誰と誰の取り組みやろな」と期待の声か



尾鷲節を歌って、皆さんから大きな拍手をもらいました。

聞かれました。結びの一番が終わると、梨ノ木場所も大相撲のように、殊勲賞・技能賞・敢闘賞が選ばれ、拍手喝采の中、厳かに受賞式が行なわれました。

「楽しかったな」「来年は私も歌ってみよか」などの声がかれ、出演者も応援者も楽しいひとときを過ごしました。

『旬の食材について』

旬とは、野菜類、果実類、魚介類等、その食品が最も多くとれる時期を言い、それだけに食品の価格も安く、おいしく食べられるという利点があります。

暑い夏の季節になると、どうしても食が細くなりがちで、体力も衰えてきます。うなぎ、はも等、体の長い魚は夏が旬で、脂がたっぷりのり、ビタミンAやタンパク質等の栄養分も豊富ですので夏バテ予防に最適です。うなぎは蒲焼、はもは塩焼等にとすると格別です。

夏野菜は、なす、トマト等、体を冷やす作用があります。特になすは、暑気払いにはぴったりの野菜です。なすの田楽、なすの生姜醤油和え等は、とても美味で食がすすみます。

最近では、殆どの食材が年中出回っているようですが、当園では日々の献立に、なるべく旬の食材を使うように工夫しています。脂のたっぷりのった魚、みずみずしい野菜を存分に味わっていただければ、調理師冥利につきます。



《転倒予防教室・介護予防教室》

在宅介護支援センターなしのき

平成九年度に開設された在宅介護支援センターなしのきには、在宅支援と居宅サービスセンター事業（介護保険事業）があります。

在宅支援とは、家庭で生活されている高齢者の方の生活向上をお手伝いする業務です。その内のひとつとして、平成十三年度より上野市の委託を受け、各担当地区の民生委員さん等のご協力をいただきながら、《転倒予防教室や介護予防教室》を開催しています。

転倒しにくい環境作りや実技をまじえた身体づくりをはじめ、家庭でも簡単にできる予防方法を紹介しています。これまでの教室に参加された皆様は「歳はとつても自分の好きなことができるように」と、真剣な表情で参加されて



花垣地区で開催した転倒予防教室。

加え、この教室が、皆様方の健康作りの手助けになれば、願っています。



# 祝成人



今年、成人を迎えた

田中幸司さんを囲んで。

去る平成十四年一月十四日(月)に在宅障害者デイサービス施設かしの木ひろばにおいて利用者の方の成人のお祝いを行いました。今年是一名の新成人が誕生しました。

お祝いの品は、利用者ごと職員が書いた寄せ書きと利用者の方々と一緒に作詞した歌のCDです。寄せ書きには、文字が書きにくい方は口に棒を保持してパソコンでメッセージを打ちこみ、あるいは星やハートの形に切り取った紙に絵を描くなどしてくださり、たのしいものが出来ました。

また、CDのジャケットの写真は右半身が不自由な方がカメラを逆さまに持って撮影し、パソコンが得意な利用者がその写真を使いジャケットの全体的なデザインを作成しました。利用者全員で新成人誕生をお祝いすることができました。

成人、おめでとございます。

## 心身障害者ホームヘルプサービスの担当者より

かしの木ひろばで障害者ホームヘルプサービスを始めて7年目になりました。

今までは月曜日から金曜日までの利用でお願いしてきましたが、今年度から土曜日の利用を始めさせてい

ただいています。

四月から訪問させていただき、希望された方々には利用日が増えたと喜んでもらっています。

これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

## とっておきのさをり織り

平成六年四月の開園当初から鳥井恭子先生にご指導をいただき、さをり織りを続けています。みんな始めは真つ直ぐに布が織れず苦しました。さをり織りのおもしろいところは、横糸が出ていても重なり合っていない模様として見えるところだと教えていただきました。

今では自分で好きな縦糸横糸を選んで、その日の気持ちで私色を織っています。織りあがった布はボランティアさんの縫製でベスト、スカート、ジャケットなどの大作となり、また残り布で巾着袋、財布、ふくろうを作るなど楽しんでいます。

## 在宅障害者デイサービス施設かしの木ひろば

開園から織っている矢倉美砂子さんと鳥井恭子先生(左)です。



さをり織りで作ったふくろうのプローチ。

## 『伊賀広域在宅障害者生活支援センターかしの木』です。

障害者生活支援センターかしの木は、伊賀地域の身体障害者やそのご家族のための相談窓口です。相談は二十四時間年中受け付けています。

生活支援センターかしの木のサービスには、主に次のようなものがあります。

### ◆ピアカウンセリング

障害のある人がカウンセラーとなり、生活上のアドバイスをします。

### ◆専門機関の紹介

必要に応じて、専門の医療機関

や三重県障害者職業センターなどの紹介をします。

### ◆相談・支援

公的な在宅福祉サービスの利用手続きや福祉施設、福祉機器の情報提供などをします。

### ◆専門家の紹介

建築士やリフォームヘルパーや作業療法士、手話通訳者の紹介・派遣などをします。

その他に、パソコン教室や料理教室、おしゃれ教室、講演会などを行なっています。

# 点字講習会・デージー録音図書 編集奉仕者養成講習会 始まる



真剣なまなざしの受講者。

平成十四年度の点字講習会、デージー録音図書編集奉仕者養成講習会が五月十四日から始まりました。  
点字講習会は、名張市総合福祉センターふれあいを会場として、毎週火曜日に、三十一名の参加者を得て三カ月間にわたり実施することになりました。終了後は、修了者の中の希望者に対して、点字講習会を一年六カ月間開催し、上野点字図書館の点訳奉仕者として活躍していただける技術を習得される予定です。

デージー録音図書編集奉仕者養成講習会は、現在活躍中の音訳奉仕者を対象に、一講座八回を三クール実施するものです。

デージー録音図書の作成は、カセットに録音されている図書をパソコンに取り入れ、CD1枚に登録するための編集作業が必要であり、その技術を習得していただく講習会です。出来上がったデージー録音図書は雑音が少なく、長い年月を経ても、入力された時の音質で聞いていただくことができます。

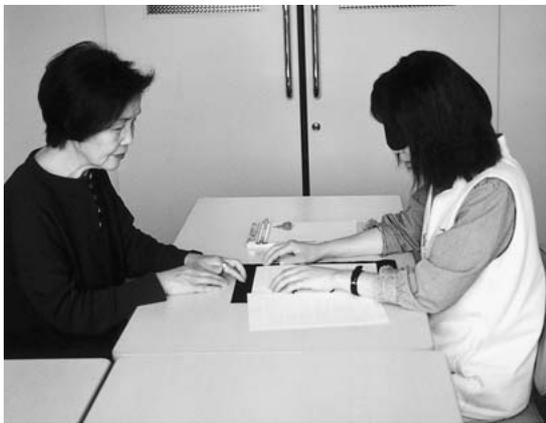


デージー録音図書を作成するボランティアの皆様と職員。

## 真剣に取り組む－点字触読訓練－

世の中あげてのIT時代、前回ご紹介した視覚障害者用パソコンソフトを使用することで、墨字を持たない視覚障害者の文字処理能力が、飛躍的に広がる可能性を持ったことは確かです。が、視覚障害者にとって、自ら書くことが出来、また読むことが出来る点字こそ、最大のそして基本的なITではないでしょうか。

中でも、墨字を失った中途視覚障害者の墨字に代わる文字(点字)の読み書きは、新しい生活の第一歩となります。しかし、その習得は決して生やさしいことではなく、途中で挫



アイマスクをつけて頑張る。

身障施設のページ

折してしまう人もいました。最近では、指導方法も確立しつつあり、過去に苦労されたほど難しいものではなくなってきたことは幸いです。  
現在、上野点字図書館では、地域で共に生活し、社会的自立や生活の質的向上を目指す三名の方が、ボランティアの協力を得て点字触読訓練を受けておられます。

### ボランティアの方々が 製作された図書等

H13 15 H14 3 / 31

#### グループ「あい」(点訳)

- 点訳図書 6タイトル 67冊
- 校正 16タイトル 141冊
- 製本 23冊

点字触読指導  
教科書の点訳

#### グループ「あかり」(点訳)

- 点訳図書 10タイトル 74冊
- 教科書・参考書等の点訳
- 名張市広報の点訳

#### グループ「しのび」(音訳)

- 音訳図書 7タイトル 32巻
- 上野市広報の音訳
- 大山田村広報の音訳
- 中日新聞コラムの音訳
- 梨ノ木園・第二梨ノ木園読書会

#### グループ「こだま」(音訳)

- 音訳図書 14タイトル 92巻
- 中日新聞コラムの音訳

# お知らせひろば

ご支援ご協力いただいている方々  
(平成十三年十二月〜平成十四年五月)

## 《個人》

敬称略

- 秋森 桂、井岡 昭、井坂 長生、石井 俊子、石原 京子、伊藤 篤美、犬飼 常教、井上 わこ、猪木 千里、上田 順子、太田 久子、大野 利江、大森 秋子、岡本 龍、岡森真理子、岡森 道代、小川 茂子、小川 隼彦、奥 秀雄、奥田 英夫、尾崎 文孝、川崎 道行、川浪 玲子、北寺 真弓、葛原 香積、葛原 孝一、児玉祐嘉子、小林ふじ智、澤田ひとみ、嶋地 秀昭、杉本ちえみ、朱雀 文雄、曾我 京子、高島 真哉、竹内 竹久、竹内 善昭、竹島 和美、田中 しえ、田中 澄夫、田中三紀代、田中美代子、玉川 弘毅、田山紗知子、鳥井 恭子、中井 克明、中尾 悦子、長島 洋子、中林 道子、中野 尚美、中村 節子、中村 保正、中森 勇、中森 英二、中森美年子、西岡かつの、西田 誠、西出 成子、長谷川かよ子、畠 一幸、治多 裕益、馬場 育子、東出 和幸、平井 弘郎、広瀬 亮宗、福井 伸一、福井 紀生、福森 博、藤井 尚子、藤森 裕子、古川 節郎、別所 法山、本間 善嗣、前川 重孝、前山逸都生、町野富小枝、松永 幸子、丸井 規義、三村 久子、宮崎 慶一、村井 充子、村手 光紀、百地 由紀、森 順子、森川 祐子、森下 弘子、森田 満枝、森永 弘昌、安本美栄子、山本 浜子、豊 哲男、豊 秀雄、吉田 敬一、吉村真智子、

## 《団体》

敬称略

伊賀北部農協長田ふれあい店、伊賀北部農協花垣ふれあい店、伊賀北部農協古山ふれあい店、上野市消防団西部分団長田部・花之木部、日本テレビ放送 NHK厚生文化事業団、中京テレビ放送 NHKサービスセンター、NHKサービスセンター、チャリティ寄席実行委員会、上野点訳奉仕グループあかり、名張点訳奉仕グループあかり、上野音訳グループのび、名張音訳グループこだま、ボランティアグループポケット、ボランティアグループあゆみ、ボランティアグループうさぎ、ふれあいコーラスボランティア、カマキリ部隊、大滝自治会、大野木自治会、小田町自治会、桂自治会、白檜自治会、長田自治会、治田自治会、花之木自治会、古山自治会、三田自治会、予野自治会、小田公民館、東部公民館、長田市民センター、花之木公民館、三田公民館、花垣小学校、花之木児童福祉会、日星高等学校、上野市仏教会、射手神社、大寶寺、法音寺上野支院安立寺、天理教島ヶ原大教会、天理教栗太分教会、天理教神興分教会、黒住教上野中教会所、上野聖ヨハネ教会婦人会、岡八幡宮獅子神楽保存会、少林寺三重上野道院、上野ロータリークラブ、上野東ロータリークラブ、前田教育会館、神戸老人クラブ・女性部、長田地域婦人会、美しく老いる会、声のポスト友の会、月曜会、水月会、上野市視覚障害者福祉会、朝屋カラオケ実行委員会、平岡カラオケ教室、上田園芸、近江屋、サンシヨク、ジャクエツ、食彩酒房いとう、廣岡弘文堂、八百市

## あなたも 投句してみませんか?

俳聖松尾芭蕉翁の遺徳を偲ぶ芭蕉祭が今年で五十六回を迎えることになりました。梨ノ木園の方々は、「芭蕉さん」を敬愛して俳句に親しんでいらつしやいます。また、移りゆく四季折々の俳句を、芭蕉祭に投句することも楽しみのひとつになっています。

この紙面を借りて献詠俳句募集要項を掲載させていただきますので、自作の句をぜひ投句されてはいかがでしょう。

### 『献詠俳句募集要項』(抜粋)

#### 《応募方法》

四季雑詠 未発表の自作に限りま

す。官製はがきを使用し、表面の左下に住所・氏名・俳号・電話番号を、裏面には希望選者を朱書きし、一枚に2句書いて下さい。はがきは5枚以内、10句まで投稿できます。

《投句先》〒518-8770

『芭蕉祭献詠俳句』係

#### 《選者》

- 有馬 朗人 稲畑 汀子 宇多喜代子
- 鍵和田柚子 金子 兜太 塩田藪柑子
- 長谷川 權 早崎 明 古館 曹人
- 星野 椿 堀口 星眠 松崎鉄之介
- 森 澄雄 森田 峠

《締め切り》7月31日(水) 必着

#### 《問い合わせ先》

三重県上野市丸之内一七―一三 芭蕉翁記念館  
〇五九五―二二―二二一九

## お知らせ

平成十三年度の決算に係る事業報告書が本部事務局に備えてあります。

関係者の方々にはご覧いただけますので、お知らせいたします。

社会福祉法人 上野市社会事業協会

### 第二梨ノ木園

シヨートステイをご利用いただくために

シヨートステイを初めてご利用いただく方が安心して介護サービスを受けていただくために、第二梨ノ木園では専門の介護、看護のスタッフが訪問させていただきます。

ご利用者の健康状況、食事、入浴などの状況やご要望について説明させていただきます。詳しくは、介護支援専門員(ケアマネジャー)または、左記の施設にお問い合わせ下さい。

TEL・FAX 0595(24) 3030  
・在宅介護支援センターなしのき  
TEL・0595(22) 0505

## 編集後記

◇“歳月は人を待たず”の言葉通り、一年の半分近くが矢のよう過ぎてしまいました。当会報の第2号も、発行することができました。心から感謝申し上げます。◇これから季節は、梅雨から炎暑へ移り変わり、花々は紫陽花から百日紅へ変化していきます。相変わらず不透明で厳しい社会経済情勢下ではありますが、皆様にはいよいよご健勝ご活躍をお祈りいたします。◇次号は、上野街に祭りばやしの稽古の音色が流れる秋頃、発行したいと思っています。ご意見ご指導をお待ちしています。(編集子)



① 盲養護老人ホーム 梨ノ木園 (定員) 70人	⑪ 友生保育園 (定員) 60人	⑳ ゆめが丘保育所 (定員) 120人
② 特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園 50人	⑫ 花之木保育園 60人	㉒ 上野点字図書館
③ 老人ショートステイ 20人	⑬ 予野保育園 45人	㉓ 上野市盲人ホーム
④ 老人デイサービスセンター なしのき	⑭ 長田保育園 45人	㉔ 在宅障害者サービス施設 かしのみひろば
⑤ 在宅介護支援センター なしのき	⑮ 古山保育園 45人	㉕ 伊賀広域在宅障害者生活支援センター かしのみ
⑥ 梨ノ木診療所	⑯ みどり保育園 150人	㉖ 身体障害者療護施設 梨丘園 20人
⑦ 曙保育園 180人	⑰ 心身障害児療育施設 かしのみ園 20人	㉗ 児童クラブ フレンズうえの
⑧ 睦保育園 90人	⑱ ひかり保育園 120人	㉘ 児童クラブ キッズうえの
⑨ 三田保育園 60人	㉙ みどり第二保育園 120人	㉚ 児童クラブ ウイングうえの
⑩ 中瀬城東保育園 115人	㉛ 府中保育園 90人	㉜ 法人本部事務局